



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 東レ株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 3402 URL <http://www.toray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日覺 昭廣

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 中山 喜昭

TEL 03-3245-5178

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	753,729	△5.8	36,692	△42.1	38,040	△41.9	20,006	△50.1
24年3月期第2四半期	799,785	9.1	63,414	49.1	65,506	61.9	40,091	60.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 15,053百万円 (△56.5%) 24年3月期第2四半期 34,641百万円 (—)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.28	11.93
24年3月期第2四半期	24.61	23.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,602,807	682,389	39.5
24年3月期	1,581,501	674,149	39.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 633,458百万円 24年3月期 627,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,625,000	2.3	90,000	△16.5	91,000	△17.2	50,000	△22.1	30.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	1,631,481,403 株	24年3月期	1,631,481,403 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,095,316 株	24年3月期	2,188,912 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	1,629,360,673 株	24年3月期2Q	1,629,347,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ...	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
3. 補足情報（連単比較）	P. 11
(1) 当第2四半期の業績	P. 11
(2) 設備投資額・減価償却費	P. 11
(3) 研究開発費総額	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2012年4月1日～9月30日)の世界経済は、欧州債務問題による欧州実体経済の低迷が続く中で、中国経済の急速な悪化、米国景気回復の鈍化も重なり、厳しい状況で推移しました。国内経済については、東日本大震災からの復興関連需要や自動車に対する消費刺激策の効果による緩やかな回復の動きは見られたものの、海外経済の減速、円高の長期化を背景に夏以降は踊り場局面となりました。

このような事業環境の中で、当社グループは、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2013”に基づき、「成長分野及び成長地域における事業拡大」を要とした成長戦略を実行するとともに、トータルコスト競争力の更なる強化に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高は前年同期比5.8%減の7,537億円、営業利益は同42.1%減の367億円、経常利益は同41.9%減の380億円、四半期純利益は同50.1%減の200億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

【繊維事業】

繊維事業は、国内では、産業用途は自動車メーカーの生産拡大に伴って自動車関連用途向けの販売が伸長するなど堅調に推移しましたが、衣料用途は春先の天候不順や景気後退の影響などにより需要は弱含みで推移しました。海外では、欧米景気及び中国内需の減速の影響を受けてアジア地域の需要が低調に推移したことに加え、前年度に引き続きタイの洪水の影響が生産・販売面で残りました。繊維事業全体では、売上高は前年同期比6.1%減の2,889億円、営業利益は同18.5%減の185億円となりました。

【プラスチック・ケミカル事業】

プラスチック・ケミカル事業は、樹脂事業は、国内を中心に自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長しました。海外では、中国市場の停滞により、汎用ABS樹脂の荷動きは低調に推移しましたが、樹脂コンパウンドなど米国自動車用途向けの販売は拡大しました。フィルム事業は、世界的な景気低迷などの影響により国内外で需要が低調に推移するとともに価格競争の激化が継続しました。プラスチック・ケミカル事業全体では、売上高は前年同期比5.6%減の1,950億円、営業利益は同35.9%減の105億円となりました。

【情報通信材料・機器事業】

情報通信材料・機器事業では、薄型テレビ市場の低迷による液晶パネルの生産調整はほぼ終了し回復傾向にあるものの、フィルム及びフィルム加工品をはじめ薄型テレビ関連製品は前年同期の水準までの回復には至らず、価格競争も激化しました。中・小型ディスプレイ関連部材は、スマートフォン関連材料など一部を除き総じて低調に推移しました。情報通信材料・機器事業全体で、売上高は前年同期比6.9%減の1,211億円、営業利益は同51.1%減の96億円となりました。

【炭素繊維複合材料事業】

炭素繊維複合材料事業では、航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空・宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進しました。スポーツ用途については、国内外での景気低迷の影響を受けて市場の回復が遅れ、価格競争が激化しています。炭素繊維複合材料事業全体で、売上高は前年同期比 0.6%増の 365 億円、営業利益は同 16.8%減の 42 億円となりました。

【環境・エンジニアリング事業】

環境・エンジニアリング事業では、東レ本体の水処理膜事業においては、主要な市場である欧米、中東、中国などの需要は低調に推移しましたが、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で進めています。国内子会社では、水処理エンジニアリング子会社の業績は堅調に推移しましたが、建設・不動産子会社の完成案件は前年同期に比べ減少しました。環境・エンジニアリング事業全体で、売上高は前年同期比 8.4%減の 781 億円、営業損益は同 42 億円減の 0 億円の損失となりました。

【ライフサイエンス事業】

ライフサイエンス事業では、医療材については、ポリスルホン膜人工腎臓トレライト®NVや吸着型血液浄化用浄化器トレミキシン®などの販売が順調に拡大しましたが、医薬品については競争激化に加え、本年4月の薬価改定による販売価格低下の影響もあり、ライフサイエンス事業全体として、売上高は前年同期比 1.8%減の 270 億円、営業利益は同 29.2%減の 30 億円となりました。

【新規事業・新規投資など】

当社は、チェコ共和国の子会社「Toray Textiles Central Europe s.r.o.」において、水なし平版の生産工場を新設することを決定しました。欧州における新聞印刷用途の需要増加に伴い、岡崎工場に次ぐ新しい生産拠点として、工場新設を決定したものです。新工場は2014年1月からの生産開始を予定しております。水なし印刷は、環境面での規制対象物質を含む湿し水が不要であるとともに、現像時に強アルカリ溶液を使用しないため、環境に優しく、また、印刷開始時の生産ロスも少ないので、印刷コストの低減にも繋がります。水なし平版は、当社の「グリーンイノベーション事業拡大（GR）プロジェクト」を代表する製品のひとつです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産の部は、棚卸資産や有形固定資産などが増加したことを主因に前連結会計年度末比 213 億円増加の 1 兆 6,028 億円となりました。

負債の部は、有利子負債が増加したことを主因に前連結会計年度末比 131 億円増加の 9,204 億円となりました。

純資産の部は、純利益の計上による利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末比 82 億円増加の 6,824 億円となり、このうち自己資本は 6,335 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、欧州経済の低迷継続、中国はじめ新興国経済の一層の減速が懸念されていることに加え、米国経済についても来年初からの財政緊縮への対応次第で景気後退の恐れがある厳しい状況にあります。日本経済は、復興関連需要は見込まれるものの、エコカー補助金終了、海外経済減速の長期化、長引く円高等の影響が懸念されており、回復軌道に戻るには時間を要することが見込まれます。

このような状況の下、当社グループは、引き続き、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2013”への取り組みに注力し、成長戦略の推進と収益基盤の強化に努めてまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向並びに、国内外ともに厳しさを増す経済情勢等に鑑みて、連結売上高1兆6,250億円、営業利益900億円、経常利益910億円、当期純利益500億円といたします。なお、10月以降の為替レートは79円/ドルを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,398	83,694
受取手形及び売掛金	283,628	281,848
商品及び製品	161,757	178,907
仕掛品	73,032	77,719
原材料及び貯蔵品	60,956	62,241
その他	67,737	64,918
貸倒引当金	△2,269	△1,823
流動資産合計	726,239	747,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	174,720	182,282
機械装置及び運搬具（純額）	225,399	238,739
土地	69,595	69,757
建設仮勘定	76,971	67,205
その他（純額）	15,238	16,745
有形固定資産合計	561,923	574,728
無形固定資産		
のれん	31,862	30,166
その他	10,758	11,532
無形固定資産合計	42,620	41,698
投資その他の資産		
投資有価証券	160,174	150,889
その他	92,937	90,281
貸倒引当金	△2,392	△2,293
投資その他の資産合計	250,719	238,877
固定資産合計	855,262	855,303
資産合計	1,581,501	1,602,807

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	182,071	169,567
短期借入金	101,758	119,323
1年内返済予定の長期借入金	46,246	52,443
コマーシャル・ペーパー	25,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	12,494	8,193
賞与引当金	16,220	16,489
その他の引当金	462	323
その他	121,578	107,514
流動負債合計	515,829	493,852
固定負債		
社債	60,000	80,000
長期借入金	235,961	249,757
退職給付引当金	65,684	66,533
その他の引当金	4,393	3,891
その他	25,485	26,385
固定負債合計	391,523	426,566
負債合計	907,352	920,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	136,740	136,748
利益剰余金	430,365	442,217
自己株式	△1,194	△1,155
株主資本合計	713,784	725,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,659	15,103
繰延ヘッジ損益	△78	85
為替換算調整勘定	△107,254	△107,413
その他の包括利益累計額合計	△86,673	△92,225
新株予約権	287	400
少数株主持分	46,751	48,531
純資産合計	674,149	682,389
負債純資産合計	1,581,501	1,602,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 ① 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
売上高	799,785	753,729
売上原価	627,967	604,839
売上総利益	171,818	148,890
販売費及び一般管理費	108,404	112,198
営業利益	63,414	36,692
営業外収益		
受取利息	406	401
受取配当金	1,258	1,512
持分法による投資利益	3,626	3,333
雑収入	2,364	2,225
営業外収益合計	7,654	7,471
営業外費用		
支払利息	2,835	2,814
雑損失	2,727	3,309
営業外費用合計	5,562	6,123
経常利益	65,506	38,040
特別利益		
有形固定資産売却益	73	134
投資有価証券売却益	37	15
特別利益合計	110	149
特別損失		
有形固定資産処分損	1,414	1,382
災害による損失	412	1,794
投資有価証券評価損	1,279	3,494
その他	92	225
特別損失合計	3,197	6,895
税金等調整前四半期純利益	62,419	31,294
法人税等	19,678	10,742
少数株主損益調整前四半期純利益	42,741	20,552
少数株主利益	2,650	546
四半期純利益	40,091	20,006

②四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42,741	20,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,618	△5,492
繰延ヘッジ損益	△511	129
為替換算調整勘定	993	△72
持分法適用会社に対する持分相当額	36	△64
その他の包括利益合計	△8,100	△5,499
四半期包括利益	34,641	15,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,709	14,454
少数株主に係る四半期包括利益	2,932	599

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	62,419	31,294
減価償却費	33,239	31,679
のれん償却額	△20	1,678
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△108	920
受取利息及び受取配当金	△1,664	△1,913
支払利息	2,835	2,814
持分法による投資損益 (△は益)	△3,626	△3,333
有形固定資産処分損益 (△は益)	1,341	1,248
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1,242	3,652
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,286	1,516
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36,032	△23,329
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,792	△12,096
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,770	928
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	672	△10,417
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△942	△554
その他	53	△1,300
小計	37,561	22,787
利息及び配当金の受取額	3,283	2,570
利息の支払額	△2,700	△2,800
法人税等の支払額	△12,667	△9,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,477	13,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,288	△46,919
有形固定資産の売却による収入	303	411
無形固定資産の取得による支出	△1,228	△2,180
投資有価証券の取得による支出	△1,057	△716
投資有価証券の売却による収入	58	101
その他	506	1,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,706	△48,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	27,688	17,556
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	△15,000
長期借入れによる収入	3,224	32,883
長期借入金の返済による支出	△10,925	△10,927
社債の発行による収入	—	20,000
配当金の支払額	△8,138	△8,133
少数株主への配当金の支払額	△383	△607
その他	225	1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,691	37,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△443
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,407	2,155
現金及び現金同等物の期首残高	105,257	81,289
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	133
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,664	83,577

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)

(単位:百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンス	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高											
外部顧客への売上高	307,500	206,459	130,045	36,322	85,278	27,516	6,665	799,785	-	799,785	
セグメント間の内部売上高又は振替高	342	14,344	3,587	276	21,173	-	8,105	47,827	△ 47,827	-	
計	307,842	220,803	133,632	36,598	106,451	27,516	14,770	847,612	△ 47,827	799,785	
セグメント利益	22,741	16,422	19,731	5,032	4,191	4,245	471	72,833	△ 9,419	63,414	

(注) 1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業であります。

2. セグメント利益の調整額△9,419百万円には、セグメント間取引消去△145百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,274百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

(単位:百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンス	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高											
外部顧客への売上高	288,852	194,965	121,120	36,544	78,147	27,018	7,083	753,729	-	753,729	
セグメント間の内部売上高又は振替高	424	12,815	3,557	248	24,403	-	8,098	49,545	△ 49,545	-	
計	289,276	207,780	124,677	36,792	102,550	27,018	15,181	803,274	△ 49,545	753,729	
セグメント利益又は損失(△)	18,537	10,521	9,645	4,188	△ 38	3,005	650	46,508	△ 9,816	36,692	

(注) 1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△9,816百万円には、セグメント間取引消去168百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,984百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報 (連単比較)

(1) 当第2四半期の業績 (2012年4月1日~2012年9月30日) (金額単位:百万円)

	連 結 (対前年同四半期増減率)	単 体 (対前年同四半期増減率)
売上高	753,729 (△5.8%)	252,822 (△6.4%)
営業利益	36,692 (△42.1%)	7,932 (△53.9%)
経常利益	38,040 (△41.9%)	10,881 (△45.9%)
四半期純利益	20,006 (△50.1%)	5,327 (△52.0%)
総資産	1,602,807	1,050,174
純資産	682,389	469,383

(2) 設備投資額・減価償却費 (金額単位:億円)

	設 備 投 資 額		減 価 償 却 費	
	連 結	単 体	連 結	単 体
2011年第2四半期(累計)	282	94	327	164
2012年3月期	943	395	667	338
2012年第2四半期(累計)	437	127	311	139

(3) 研究開発費総額 (金額単位:億円)

	連 結	単 体
2011年第2四半期(累計)	246	193
2012年3月期	515	408
2012年第2四半期(累計)	262	208